

当院で血液疾患の治療を受けた患者様へのお知らせ

研究責任者 東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科
准教授・横山 和明

東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科では、白血病など血液の病気のより精密な診断法とより良い予後予測と治療法を開発するために、患者様の血液や骨髄液等を用いて病気に関連する遺伝子の研究を行っています。下記2. に該当する患者様で、試料・情報が本研究に用いられることを希望されない方は、下記7. の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありませんのでご安心ください。なお、お申し出の時点において、すでに試料・情報を用いた研究結果が論文等で公表されていた場合には、その研究結果については破棄できないことをご了承ください。

1. 研究課題名：血液疾患の臨床ゲノム解析研究

2. 研究の対象となる方と用いる試料・情報：

東京大学医科学研究所附属病院血液腫瘍内科を受診された 16 歳以上の血液疾患の患者様で、下記に該当する方の試料・情報を利用させていただきます。

- 『血液疾患のゲノム解析研究』等の次世代シーケンスを用いた遺伝子解析研究に参加して、試料・情報の二次利用に同意頂き、試料・情報が保存されている患者様
- 必要な検査等を行った後に残った試料が保存されている患者様

試料：遺伝子解析研究、又は診療目的で採取した核酸検体、凍結細胞検体、塗抹標本、組織標本、リンパ節採取後、必要な臨床検査に提出して残った細胞浮遊液、血液や骨髄の残余塗抹標本や必要な臨床検査に提出して残った細胞浮遊液や核酸検体から抽出した DNA、骨髄細胞など

情報：病名、病期、治療の内容と効果、副作用、臨床検査結果等や研究で得られた次世代シーケンスを用いた遺伝子解析による結果

3. 研究の目的と方法：

この研究では、腫瘍の発症や再発、そして薬物治療の反応性、副作用の発症に関わる特徴的な遺伝子のキズ（変異）などを見つけたし、腫瘍の精密な診断や最適な治療法の選択などに将来役立てるため、上記の患者様の試料・情報を利用させていただき、病的血球（腫瘍細胞）と正常細胞を全ゲノム解析などの様々な遺伝子解析手法を用いて解析を行います。さらに、解析した情報の一部を活用して、根拠を提示する人工知能技術の開発や人工知能の解析結果を解釈できる人材育成、まだ機能がよくわかっていない変異の機能解析によりその機能（発がん、薬剤治療への感受性）を明らかにすることも目的としています。

4. 個人情報の取扱い：

試料・情報には患者様を直ちに特定できる情報はつけず、研究用 ID をつけて利用させていただきます。遺伝子変異情報と診療情報の一部は、解析のために富士通株式会社に送られますが、その場合も研究用 ID と患者様を特定できる情報を記載した対応表は、当院の個人情報保護管理者が厳重に管理します。

5. 研究期間等：

研究期間：2025 年 4 月 1 日～2030 年 3 月 31 日

試料・情報の利用開始予定日：2025 年 4 月 1 日

6. 研究実施体制：

本研究全体の研究代表者（当院の研究責任者）

東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科 准教授 横山 和明

共同研究機関の研究責任者

NTT 東日本関東病院 血液内科 部長 市川 幹

東京慈恵会医科大学附属病院 腫瘍・血液内科 教授 矢野 真吾

東京慈恵会医科大学附属第三病院 腫瘍・血液内科 教授 土橋 史明

東京慈恵会医科大学附属柏病院 腫瘍・血液内科 教授 西脇 嘉一

関東労災病院 血液内科 部長 大野 伸広

佐賀大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 教授 木村 晋也

富士通株式会社 イノベーティブコンピューティング CPJ シニアリサーチマネージャー 富士 秀

7. ご質問・ご相談、ご辞退のお申し出に関する連絡先：

研究に関するご質問・ご相談、または試料・情報が本研究のために提供及び利用されることを希望されない場合には、下記までご連絡下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧出来ますのでお申し出下さい。

<連絡先>

〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1

東京大学医科学研究所附属病院

血液腫瘍内科 横山和明

電話：03-3443-8111（代表）03-5449-5540（直通）

【東京大学医科学研究所】

研究所長名：岩間 厚志

住所：東京都港区白金台 4-6-1

ホームページ：<https://www.ims.u-tokyo.ac.jp/>

研究倫理支援室：<https://ore-imsut.jp/>